

2009年3月25日

株式会社 富士経済
 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町
 2-5 F・Kビル
 TEL.03-3664-5811 FAX.03-3661-0165
 URL : <http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>
<https://www.fuji-keizai.co.jp/>
 広報部 03-3664-5697

透明・屈折材料、光学関連部材の世界市場を調査

2013年の世界市場予測

透明・屈折材料は5兆5,122億円(08年比18%増)

光学関連部材は1兆6,397億円(08年比49%増)

総合マーケティングビジネスの株式会社富士経済(東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 阿部 界 03-3664-5811)は、エレクトロニクス分野などで使用される透明・屈折材料と光学関連部材の世界市場を調査した。その結果を報告書「2009年 光機能材料・製品市場の全貌(下巻)」にまとめた。

この報告書では、透明ポリマー4品目、透明無機材料2品目、低・高屈折率材料9品目の透明・屈折材料と、フィルム・シート14品目、透明導電製品5品目、光学基板4品目、光学レンズ4品目、イメージセンサ用カラーフィルタ、プラスチック光ファイバの計29品目の光学関連部材を取り上げ、総計44品目の市場を分析した。

<調査結果の概要>

透明・屈折材料、光学関連部材の世界市場予測 光学関連部材市場は億円単位で四捨五入しているため合計と一致しません。

		2008年	2013年予測	08年比
透明・屈折材料		4兆6,716億円	5兆5,122億円	118.0%
光学関連部材	フィルム・シート分野	5,977億円	8,940億円	149.6%
	光学基板分野	4,458億円	5,021億円	112.6%
	レンズ分野	544億円	2,437億円	448.0%
	合計	1兆 978億円	1兆6,397億円	149.4%

(1)透明・屈折材料

08年の市場は、前年比1.1%増の4兆6,716億円となった。不況の影響で多くの品目が減少する中、販売金額の大きい透明PC(ポリカーボネート)やPMMA(アクリル樹脂)が増加したことから僅かに拡大した。09年の市場は縮小するが、今後中長期的には、透明材料はBRICsを中心に自動車やエレクトロニクス(特にFPD)市場拡大に伴い、屈折材料はエレクトロニクス市場の需要回復に連動して伸びると想定される。特に、白色LED向けを主用途とするLED封止材用シリコンは、白色LED市場の拡大に連動して2013年には08年の約5倍になると予測される。

(2)光学関連部材

08年のフィルム・シート分野の市場は、前年比1.6%増の5,977億円となった。太陽電池やLEDなどの関連部材は大きく伸びているが、全体では08年の後半からの世界的な景気の悪化による需要の低迷で、伸びが大幅に鈍化している。09年も景気低迷の影響と、FPD関連部材では最終製品価格の下落に伴い単価が下落していることから、前年比1.4%減が見込まれる。尚、08年で最も大きいFPD用TAC(トリアセチルセルロース)フィルムの実績を、2012年には成長著しい太陽電池バックシート用フィルムが上回る見通しである。

08年の光学基板分野の市場は、半導体や液晶市場の低迷と、最終製品価格の下落に伴う部材単価の下落により、前年比11.2%減の4,458億円となった。09年も不況に伴う需要の低迷と単価の下落が続くため、市場は前年比7.6%減が見込まれる。08年現在半導体フォトリソマスクがこの市場の約60%を占めている。また、4%程度を占める太陽電池用透明導電膜ガラス基板は、参入メーカーの設備投資が相次いでおり需要も急増していることから2013年には17%まで高まると予測される。

08年のレンズ分野の市場は、前年比5.4%増の544億円となった。ステッパー用レンズ材料の実績が最も大きく、次いでBlu-ray用光ピックアップレンズ、リフロー用高耐熱レンズの順となっている。プラス成長を果たしたものの、ステッパー用レンズ材料やプラスチック光ファイバが縮小しており、市場の伸びは大幅に鈍化している。今後はBlue-ray用光ピックアップレンズと、低コスト化で従来の携帯電話などのカメラモジュールのレンズと代替が期待されるリフロー用高耐熱レンズが飛躍的に伸びると予想される。

< 主要用途分野の光学関連部材動向と注目部材 >

1. FPD用途

FPD用TAC/PETフィルム、透明導電性フィルム、液晶フォトマスクなど、FPD用のフィルム・シートや光学基板など14品目(部材)が対象となる。08年は前年比3.5%減の5,337億円となった。FPD用TACフィルム、FPD用PETフィルム、液晶フォトマスクの順に実績が大きい。

09年の市場は、液晶市場の低迷が影響し引き続き縮小が見込まれる。2010年以降には再びプラス成長に転じ、最終製品価格の下落に伴う単価の下落が進むが2013年には5,836億円が予測される。実績はまだ小さいがタッチパネル用フィルムが特に伸びると見られる。

注目部材 透明導電性フィルム(タッチパネル用)

2008年 145億円 2013年予測 197億円 08年比135.9%

タッチパネルを搭載する携帯電話やポータブルゲーム機、カーナビ、FA機器などが増加しており、高成長が続いている。08年はその需要拡大から一時供給が追いつかない状況で、メーカーによる増産が行なわれた。しかし、10月以降に景気が悪化したことから09年初頭は一転して供給過剰となっている。

09年は需要の減退でゼロ成長が見込まれるが、携帯電話やカーナビはタッチパネル搭載機器が増加しており、海外ではカーナビに続いてPND(パーソナルナビゲーションデバイス)への採用も期待できるため2010年以降に市場拡大が予測される。

2. 太陽電池用途

太陽電池のバックシート用フィルム、透明導電膜ガラス基板、ハイバリアフィルム、透明導電性フィルムが対象となる。世界的に「環境」政策が推進されていることから太陽電池関連の需要は好調で、08年の市場は前年比41.7%増の1,222億円となった。バックシート用フィルムの実績が大きく、市場の85%を占める。

09年は市場の伸びがやや鈍化するものの、前年比約20%増を確保すると見込まれる。今後も太陽電池関連の需要増は続くため、2013年に市場は08年比3.5倍の4,300億円が予測される。

注目部材 太陽電池バックシート用フィルム

2008年 1,043億円 2013年予測 3,448億円 08年比330.6%

太陽電池市場の大幅な拡大に伴い、高成長している。09年は世界的な不況の影響で伸びは鈍化するものの、二桁成長は維持すると見込まれる。米国をはじめ、日本、韓国でも「グリーン・ニューディール政策」を打ち出し、新エネルギーの育成に取り組みは始めている。それに対してリンテックグループや東洋アルミニウムなどの太陽電池バックシートメーカーが生産能力の増強を進めているため、今後も高成長で拡大すると予測される。バックシート用フィルムメーカー各社も生産増強を予定しているが、供給過剰による低価格化が懸念される。

3. LED用途

エッジライト型LED光源用面発光板、直下型LED光源用拡散板、LED用レンズが対象となる。LED需要が好調で、08年の市場は前年比32.3%増の11億円となった。エッジライト型LED光源用面発光板が市場の70%を占める。輝度向上等による高機能化、新規用途の拡大等が寄与し、2013年には38億円が予測される。

注目部材 エッジライト型LED光源用面発光板

2008年 8億円 2013年予測 26億円 08年比325.0%

LED光源用面発光板は、直下型とエッジライト型がある。エッジライト型は、側面に取り付けられたLEDの光を任意の方向に反射・拡散させる機能を持つ。

欧米と、サイン・ディスプレイを生産する東南アジアが需要地である。国内でも看板向けにLEDが採用されはじめ需要が増加している。

今後もエコ対応から、低消費電力と長寿命が特徴であるLED市場は拡大すると見られ、それに伴いこの部材も欧米を中心に需要が増加すると予測される。

4. デジタル機器用途

携帯電話用前面保護板、導電性遮光フィルム、Blu-ray用光ピックアップレンズが対象となる。デジタル機器用途の市場はプラス成長を維持しているものの、世界経済の急速な悪化により08年の伸びは大幅に鈍化した。中長期的には携帯電話機やデジタルカメラ、Blu-rayレコーダーなどの市場が拡大すると見られるため、201

3年に市場は1,221億円が予測される。

携帯電話用前面保護板が08年の市場343億円の54%を占めるが、2013年にはBlu-ray用光ピックアップレンズが大幅に拡大し、市場の78%を占めると予想される。

注目部材 Blu-ray用光ピックアップレンズ

2008年 130億円 2013年予測 957億円 08年比736.2%

Blu-ray用の対物レンズとコリメータレンズ、センサレンズを対象としている。これまで需要はゲーム機が中心であったが、現在は記録/再生機向けなどの需要も増加している。世界経済の悪化が影響し、記録/再生機など当初の普及予測を大幅に割り込んでいるが伸びており、Blu-ray用光ピックアップの生産量は拡大するため、これに連動してレンズの需要も増加すると見られる。但し、需要の急拡大に伴い、単価は下落している。また、安価なプラスチックレンズの構成比率が高まるため、市場は数量の伸びほど拡大しない。

以上

<調査対象>

透明・屈折材料	透明ポリマー	透明PC、PMMA(アクリル)、透明ABS、PET樹脂	
	透明無機材料	合成石英ガラス、フッ化物単結晶	
	低・高屈折率材料	低屈折率材料(反射防止フィルム用、レンズコーティング用)、高屈折率材料(反射防止フィルム用、レンズコーティング用、プラスチック光学レンズ用、LED封止用シリコン、リフロー用高耐熱樹脂、イメージセンサ用カラーフィルタ用マイクロレンズ材料)、中屈折率材料(イメージセンサ用カラーフィルタ用平坦化材)	
光学関連部材	フィルム・シート分野	光学フィルム・シート	FPD用PETフィルム、FPD用TACフィルム、環状ポリオレフィンフィルム、透明ポリイミドフィルム、ハードコートフィルム(光学用)、タッチパネル用反射防止フィルム、PDP反射防止フィルム(NIRA複合タイプ)、FPD用ハイバリアフィルム(有機EL、LCD用)、太陽電池用ハイバリアフィルム、太陽電池バックシート用フィルム、エッジライト型LED光源用面発光板、直下型LED光源用拡散板、携帯電話用前面保護板、導電性遮光フィルム
		透明導電製品	透明導電性フィルム(タッチパネル用、電子ペーパー用、太陽電池用、有機EL用)、透明電磁波シールドフィルム
	光学基板分野	光学基板	有機EL用ガラス基板、太陽電池用透明導電膜ガラス基板、半導体用フォトマスク、液晶用フォトマスク
		光学フィルタ	イメージセンサ用オンチップカラーフィルタ
	レンズ分野	光学レンズ	リフロー用高耐熱レンズ、Blu-ray用光ピックアップレンズ、LED用レンズ、ステッパー用レンズ(材料)
		光通信	プラスチック光ファイバ

<調査方法>

富士経済専門調査員による調査対象企業及び関連企業・団体等へのヒアリング調査及び関連文献、社内データベースを併用

<調査期間>

2008年12月~2009年2月

資料タイトル:「2009年 光機能材料・製品市場の全貌(下巻)」
体 裁 : A4判 321頁
価 格 : 100,000円(税込み105,000円)
CD-ROMセット価格 : 110,000円(税込み115,500円)
調査・編集 : 富士経済 東京マーケティング本部 第三事業部
TEL:03-3664-5821 FAX:03-3661-9514
発 行 所 : 株式会社 富士経済
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町2-5 F・Kビル
TEL03-3664-5811(代) FAX 03-3661-0165 e-mail:info@fuji-keizai.co.jp
この情報はホームページでもご覧いただけます。
URL : http://www.group.fuji-keizai.co.jp/ https://www.fuji-keizai.co.jp/